

個人投資家向け説明会資料

2024年12月4日

(証券コード：9536)



1. 西部ガスグループの概要 P. 2
2. 西部ガスグループの成長戦略 P. 10
3. サステナビリティへの取り組み P. 20
4. 中間期の決算概要と業績見通し P. 25
5. 参考資料 P. 28

1. 西部ガスグループの概要

西部ガスホールディングス株式会社

2024年3月31日現在

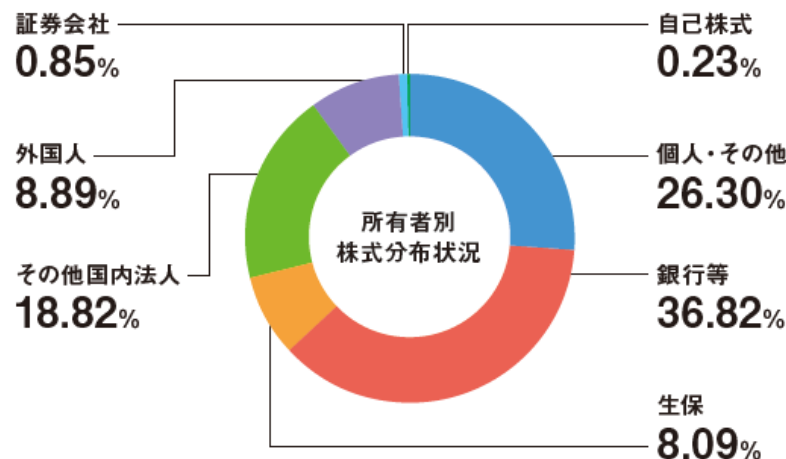
- 設立 : 1930年 (昭和5年)
- 資本金 : 206億円
- 従業員数 : 3,852名(連結)
- 連結子会社数 : 44社
- 都市ガスお客さま戸数(取付メーター数) : 113.4万戸

2024年9月30日現在

株式情報

発行可能株式総数 8千万株
 発行済株式総数 3,718万7,567株
 株主数 12,670名

【所有者別株式分布状況】



配当情報

「安定配当」が
基本方針

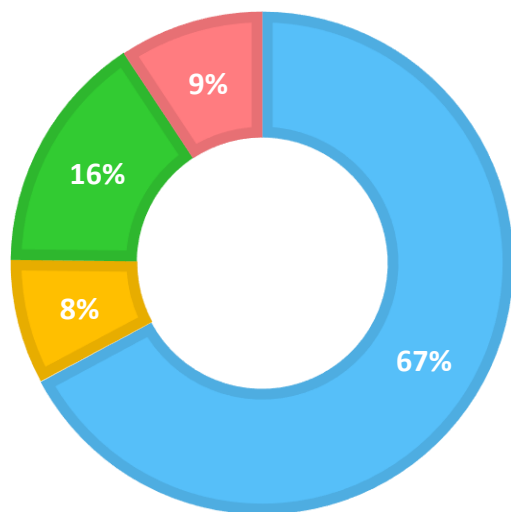
当社の配当利回り*

3.8%

※2024年9月30日終値
(1,825円/株) で試算

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
年間配当 (円/株)	70	70	70	70	70

2023年度 セグメント別売上構成比



- ガスエネルギー
- 電力その他エネルギー
- 不動産
- 食関連その他

ガスエネルギー事業



電力・その他エネルギー事業



不動産事業



食関連その他事業



事業区分	事業内容
ガスエネルギー	都市ガス・LPガス等の製造・供給及び販売、機器の販売、付帯関連事業、LNGの販売
電力その他エネルギー	電力販売、熱供給事業、太陽光・風力発電事業
不動産	土地及び建物の賃貸・管理、住宅建築・宅地開発及び不動産の販売、リフォーム事業
食関連その他	食品販売事業、情報処理事業、飲食店事業、介護事業等

天然ガスの広域供給

- ✓ 「ひびきLNG基地」でLNGを受け入れ、各地に天然ガスを供給



ローリによるLNG出荷

- ✓ 他ガス事業者さま、産業用のお客さまへLNGをローリ輸送
- ✓ 「ひびき基地」の出荷設備は、国内最大規模の12口を設置



ひびきLNG基地 出荷設備

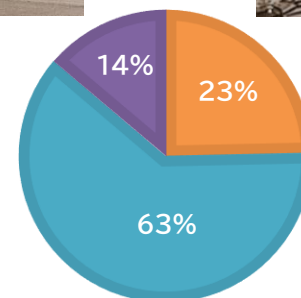
都市ガス販売量の構成比

【2023年度 都市ガス販売量構成比】



卸供給

家庭用



業務用



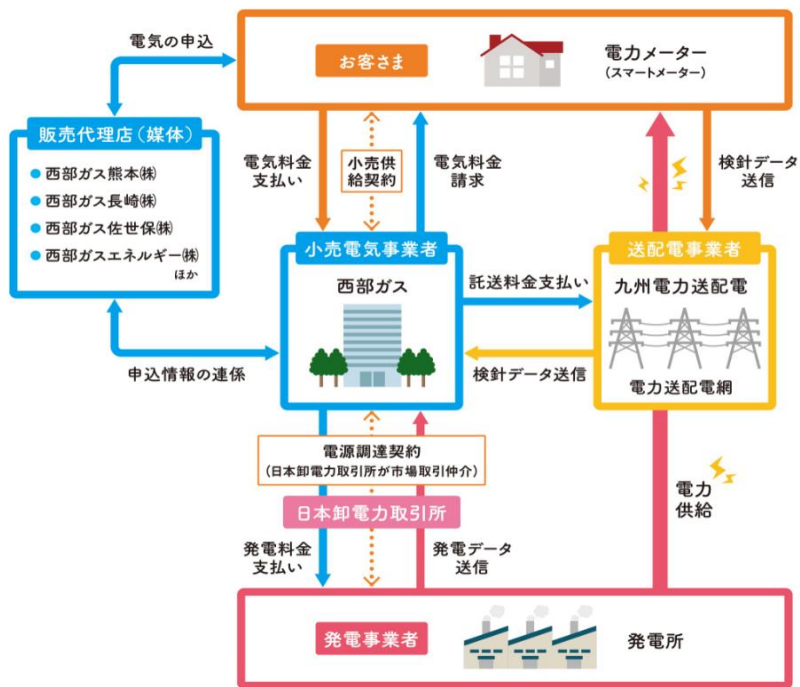
プロパンガス (LPG) 事業

- ✓ 都市ガスのインフラが及んでいないご家庭にもプロパンガスを提供
- ✓ 設置や復旧が容易なため、災害に強い分散型エネルギーとして利用



小売電気事業

- ✓ 2016年4月から、小売電気事業へ参入
- ✓ ガスと電気エネルギーをトータルで提案し、お客さま価値の向上を図る



国際エネルギー事業

- ✓ ひびきLNG基地の立地を活かし、LNG需要が拡大する中国・東南アジアにLNGを再出荷



再生可能エネルギー事業

- ✓ 2023年度末時点で、太陽光発電所は23か所、風力発電所は1か所運用し、発電規模の合計は61MW
- ✓ 1年間の発電量は、一般家庭の約16,800世帯分（2024年3月31日現在）



【発電所の一例】

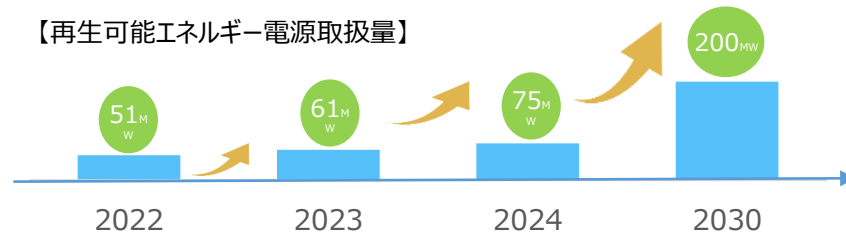


エネ・シード(株) 北九州風力発電所



エネ・シードひびき(株) ひびき太陽光発電所

【再生可能エネルギー電源取扱量】



国内不動産事業

- ✓ 九州・山口地域を中心に、分譲マンションや戸建分譲などを展開
- ✓ 暮らしの中のエネルギーと関連の深いサービスを拡充



(株)エストラストの分譲マンション



九州八重洲(株)の戸建住宅



西部ガス都市開発(株)の賃貸物件



西部ガス都市開発(株)
研究施設や商業施設、店舗、賃貸住宅で構成
する複合研究開発次世代拠点「いとLab+」

海外不動産事業

- ✓ タイなど中長期的にさまざまな不動産需要が見込まれる地域で、戸建分譲や Condominium 賃貸事業を展開



SG ENRICH Co., Ltd.の戸建住宅 (タイ)



SAIBU GAS (THAILAND) Co., Ltd.の
Condominium (タイ)

レストラン・フードサービス事業

- ✓ 炎が作り出す高品質の料理やサービス提供
- ✓ 美味しい料理を通じて、ガスの魅力を積極的に発信



(株)八仙閣が運営するレストラン・宴会場

水耕栽培野菜の製造・販売

- ✓ 安全で安心な食生活を提供したいという思いから、エスジューグリーンハウス(株)では、「JGAP認証」※を取得し、リーフレタス「うるおい野菜」を生産・販売

※JGAP認証は、持続可能な農業経営に取り組む農場を与えられる認証です。



エスジューグリーンハウス(株)が栽培する「うるおい野菜」

フランチャイズ事業

- ✓ 食関連のフランチャイズ事業を展開
- ✓ 当社グループになかった新たな運営ノウハウを吸収し、サービス品質の向上や事業効率の向上を図る



当社が運営する「MILK DO dore iku?」



(株)八仙閣が運営する「韓弁」

食品加工製造・販売

- ✓ 福岡中央魚市場(株)は、鮮魚市場の荷受けとして生鮮水産物の委託販売（セリ売り、入札など）や、水産冷凍品の販売、冷凍及び生食用水産物の加工販売等を実施



冷凍水産物の製造、加工

温浴事業

- ✓ (株)ヒナタの杜が運営を行う温浴「ヒナタの杜 小戸の湯どころ」は、お風呂や床暖房の温もりを感じる温暖ルームを併設し、利用者の皆さまに我が家にいるようなゆっくりとくつろげる「空間」と「時間」を提供



解放感のある
露天風呂



ゆっくりくつろげる
温暖ルーム

セキュリティ事業

- ✓ アイランドシティ「照葉のまち」でタウンセキュリティを実施
- ✓ 安心・安全な環境を日夜守り続ける常駐警備をはじめ、機械警備等により管理を実施



パトロールカー
による巡回



常駐警備

高齢者サービス事業

- ✓ 西部ガスライフサポート(株)では、福岡市内で有料老人ホームを運営し、高齢化社会のニーズに応える事業を展開
- ✓ 地域に根ざし安心して過ごせる介護と看護のサービスを提供



福岡市早良区
「アンペレーナ百道」

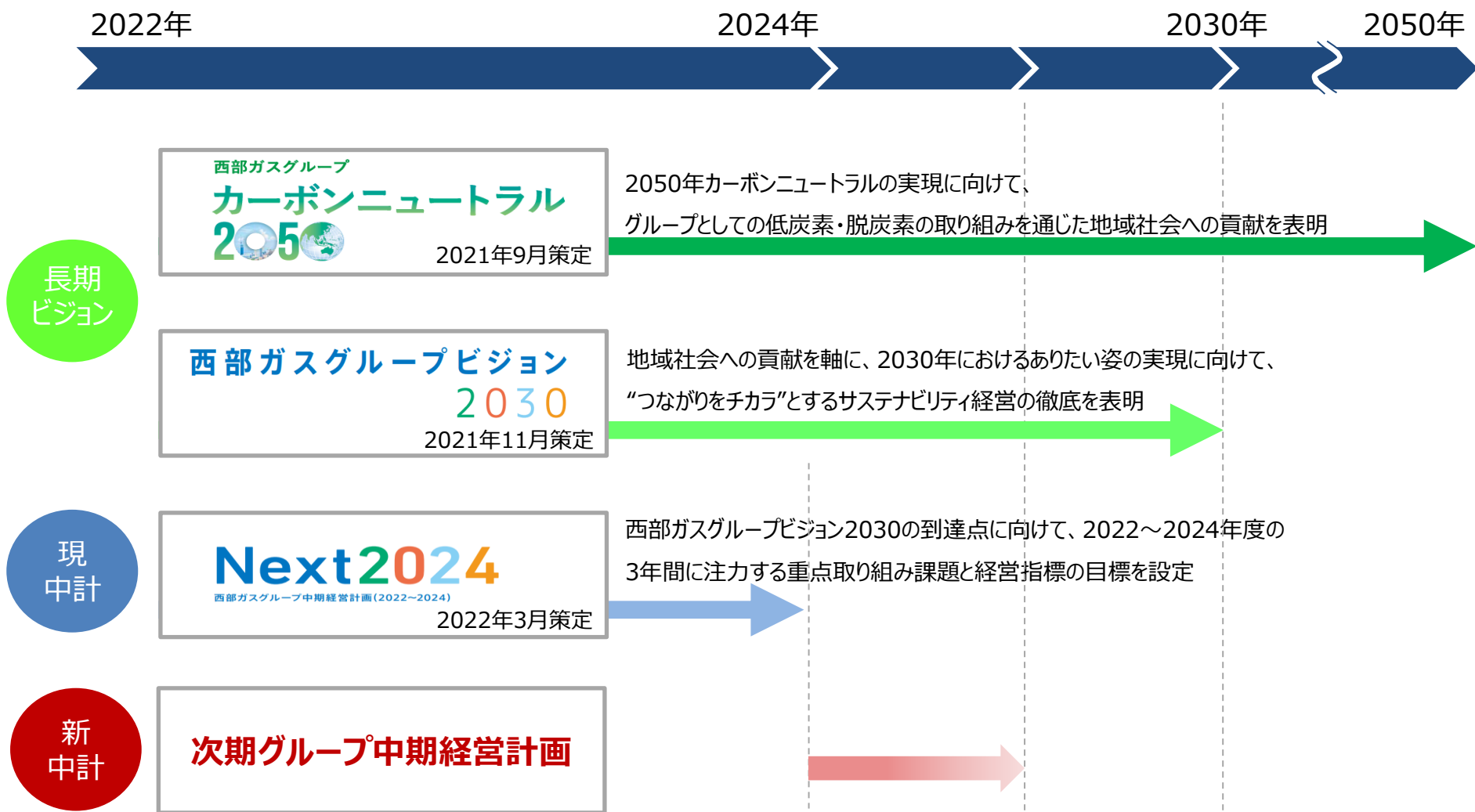
その他事業

- ✓ スタートアップ投資事業
- ✓ 障がい者就労支援事業
- ✓ 情報処理事業



2. 西部ガスグループの成長戦略

- ✓ 2050年のカーボンニュートラル、及び2030年のグループビジョンの実現に向けて、中期的に注力する重点課題を中期経営計画「Next2024」（2022-2024）にて定め、取り組みを進めている



■ カーボンニュートラル宣言

西部ガスグループは、クリーンで効率的なエネルギー利用を軸に「低・脱炭素化」の取り組みを加速させ、**2050年カーボンニュートラルの実現**にチャレンジしていきます。
 まずは、**2030年までに次の目標を掲げ、お客さまおよび地域社会の持続的発展に貢献していくことを宣言**します。

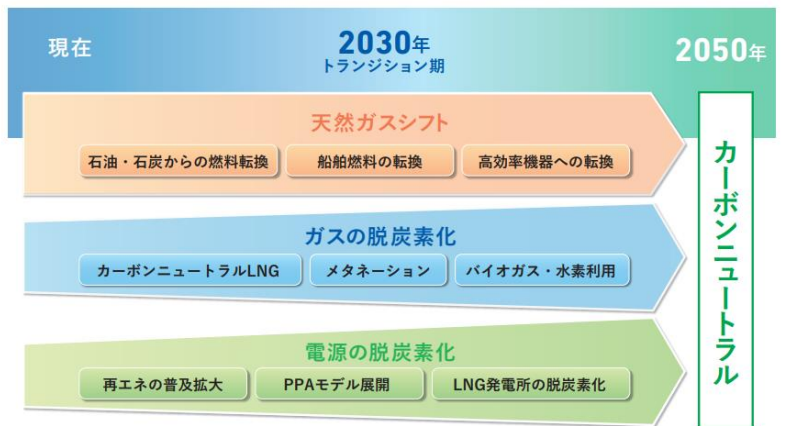


2050年カーボンニュートラル実現に向けて、これまでガス事業で培った様々な技術やノウハウを結集し、新たな取り組みにチャレンジしていきます。
 また、お客さま、行政、学術機関等との積極的な連携を図り、一体となって促進していきます。

※1 当社グループおよびお客さま先における2030年断面のCO₂排出削減貢献量(2020年度～)
 ※2 現在の当社グループおよびお客さま先のCO₂排出量(約300万トン/年)の約2分の1に相当
 ※3 国内外における電源開発、FIT電源、調達を含む
 ※4 供給するガス全体にカーボンニュートラル化したガス(メタネーション、水素、バイオガス、カーボンニュートラルLNG等の手段で製造または調達したガス)が占める割合

■ 実現に向けたシナリオ

- ✓ まずは、トランジション期における徹底した天然ガスシフトによる低炭素化を着実に進め、その上でガスの脱炭素化や電源の脱炭素化を推進することで、2050年のカーボンニュートラルを実現します。



■ 2030年のありたい姿

『人を、街を、社会をつなぎ、未来をつくる。』
西部ガスグループは「つながり」をチカラに
未来を変える価値の創造に挑み
持続可能で豊かな社会の実現をリードします。



■ ありたい姿に向けた戦略

戦略1 地域のカーボンニュートラルの実現に率先して取り組みます

クリーンで効率的なエネルギー利用を軸に低・脱炭素化の取り組みを加速させます。また、お客さま、行政、学術機関等との積極的な連携を図り、地域のカーボンニュートラルの実現に取り組みます。

戦略2 サステナブルな暮らしや地域社会を支える価値を共創します

様々なステークホルダーと連携しながら、安心して住み続けられるまちづくりや、多様な暮らしのサービス創出などに取り組み、サステナブルな暮らしや地域社会を支えます。

戦略3 未来志向で価値創造の基盤を強化します

未来を変える価値の創造に向けて、人材の育成や新しいつながりの創出に取り組みます。戦略を支える財務基盤の強化とサステナビリティ経営を推進します。

■ 経営指標

財務指標

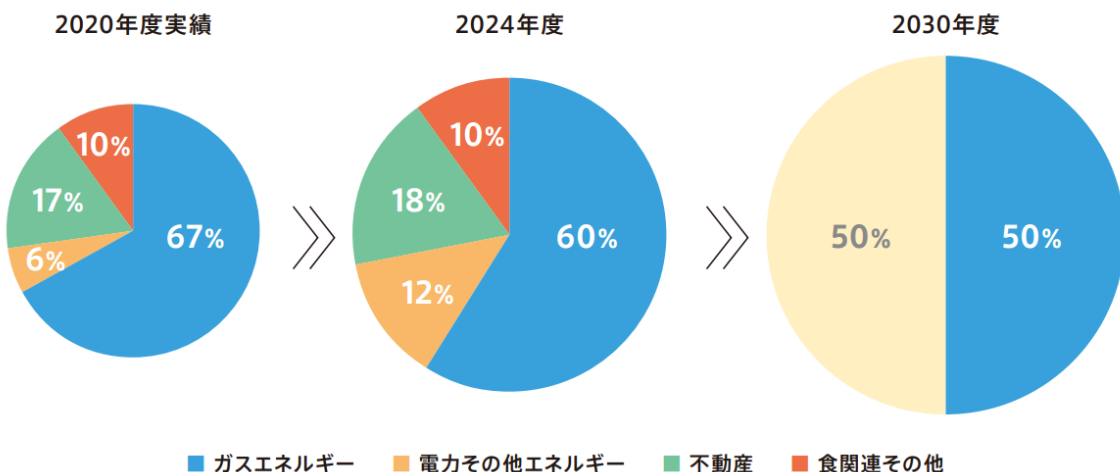
売上高 2,500億円
経常利益 150億円

■ 基本方針

エネルギーとくらしの総合サービス企業グループとして、中核であるガスエネルギー事業の競争力強化を図るとともに、電力その他エネルギー事業や不動産事業を成長させます。

引き続き事業構造の変革に取り組み、ガスエネルギーとそれ以外の事業構成比を2030年度において同程度とすることをめざします。このために必要な経営資源をグループとして最適に配分し、利益の最大化を図ります。

■ 目標とするグループ事業構成（売上高）



■ 経営指標

	2024年度(中計)
売上高	2,300億円
経常利益	250億円※
ROA	1.5%
ROE	7.5%
自己資本比率	21.5%

※2022～2024年度合計（中計）

	2024年度(中計)
天然ガス取扱量	1,000千トン
都市ガス販売量	980百万m ³
LPガス販売量	110千トン
再エネ電源取扱量	75MW
CO ₂ 排出削減貢献量	50万トン

✓ 中期経営計画の財務指標目標である経常利益250億円（3カ年合計）を達成の見込み

■ 財務指標

	2022年度 (実績)	2023年度 (実績)	2024年度 (計画)	2024年度 (中計)
売上高	2,663億円	2,563億円	2,600億円	2,300億円
経常利益 (※1)	117億円	103億円 (220億円)	80億円 (300億円)	250億円
ROA	3.3%	1.5%	1.5%	1.5%
ROE	16.4%	6.7%	7.5%	7.5%
自己資本比率	20.9%	22.8%	21.5%	21.5%

(※1) カッコ内及び2024年度（中計）は、利益額の累計

- ✓ 北部九州における燃料転換の需要を着実に獲得し、ガスエネルギー事業の収益拡大と低炭素社会の実現に取り組むとともに、新たな分野のLNG供給やエネルギーサービス事業の強化にチャレンジ

燃料転換の推進

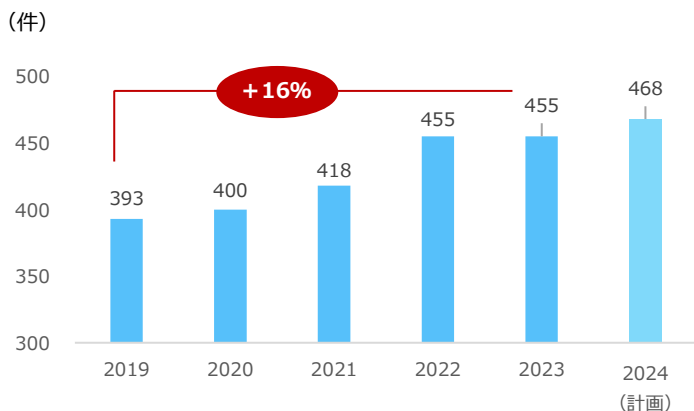
- ✓ 熱需要をターゲットに、環境性に優れた天然ガスへの燃料転換を推進

化石燃料の燃焼生成物の発生量 (石炭を100とした場合の発生量の比率)



出典:IEA「Natural Gas Prospects to 2010」(1986)

【業務用需要（大口）の推移】



LNGバンカリング事業の推進

- ✓ 当社の合併会社「KEYS」が保有するLNGバンカリング船から船舶向けLNG燃料供給を実施（2024年4月）



エネルギーサービス事業の強化

- ✓ 燃料調達からエネルギー供給、エネルギー設備の保有、メンテナンスまで一括して請け負うエネルギーサービスプロバイダー（ESP）の取り組みを推進



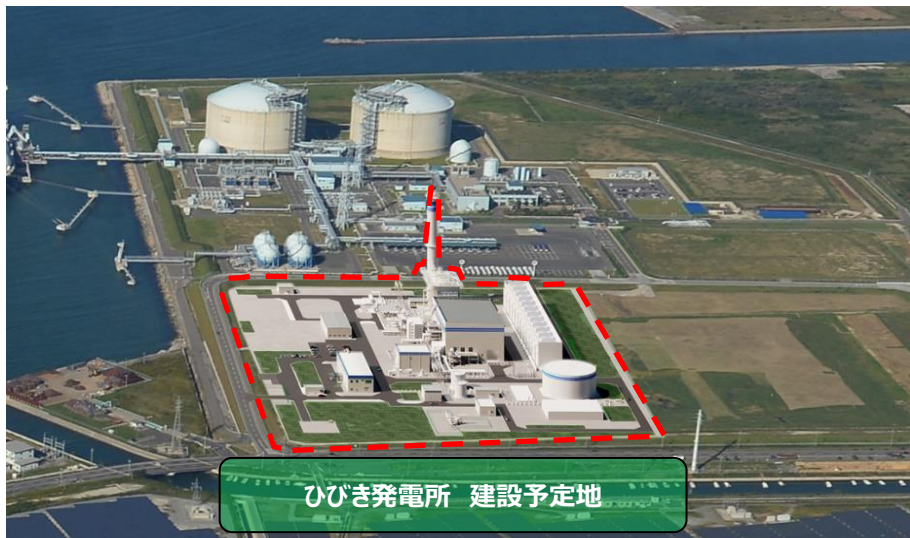
撮影：(株)エスエス

福岡大名ガーデンシティ

- ✓ ひびき発電所の稼働（2026年3月予定）を見据え、電力小売事業を強化
- ✓ 再生電源取扱量200MW（2030年）に向けて、電源を多様化

電力小売事業の拡大

- ✓ 安定的な電源調達に向けて、共同出資により、ひびき発電所を建設（営業運転開始：2026年3月予定）
- ✓ ひびき発電所は、発電方式にCO₂排出量が少ない最新鋭のコンバインドサイクルを採用し、将来的にはカーボンフリー燃料（水素等）の活用を視野に入れた設備
- ✓ 同発電所の稼働を見据え、電力小売事業を強化



規模	62万kW×1基
発電方式	ガスタービンコンバインドサイクル方式
出資者	九州電力、西部ガス

再生事業の拡大

- ✓ 太陽光発電、陸上風力発電に加え、新たに洋上風力、地熱発電等に電源種を多様化し、発電容量の拡大を目指す
- ✓ FIT終了後は高度化法対応も含め自社電源としての活用も検討



実際の建設中写真



風車外観イメージ

*Photo courtesy of Vestas Wind Systems A/S



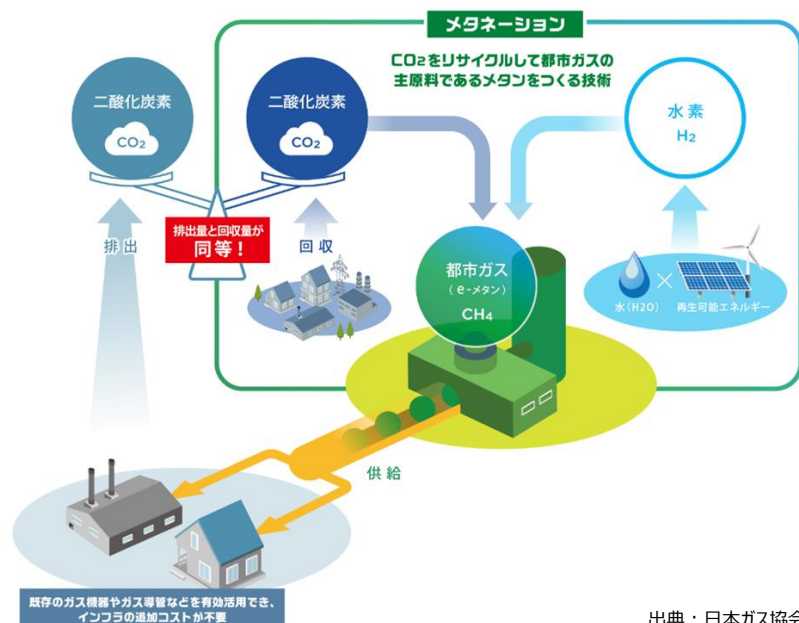
地熱発電事業
（わいた第2地熱発電所）
への出資参画
（2026年3月運転開始予定）

洋上風力発電プロジェクト @北九州市響灘(2025年度中運転開始予定)

- ✓ 環境省事業（地域創生・セクター横断型CN技術開発・実証事業）に採択され、2024年11月から地域の原料を活用したメタネーション実証事業の建設工事を開始
- ✓ 2050年に向けて、国内での実証試験に加えて、海外のサプライチェーン調査や革新技術の調査を含め、業界目標（都市ガス販売量に対するe-methane導入量：2030年1%、2050年90%）に向けて推進

メタネーションとは

- ✓ メタネーションとは、水素（ H_2 ）と二酸化炭素（ CO_2 ）から都市ガスの主成分であるメタン（ CH_4 ）を合成する技術
- ✓ グリーン水素等の非化石エネルギー源を材料として、製造された合成メタンを「e-methane」と呼ぶ



出典：日本ガス協会HP

(<https://www.gas.or.jp/gastainable/methanation/>)

実証事業

- ✓ 実証の場所については、メタネーション実証設備設置に十分な土地を有するひびきLNG基地内で実施
- ✓ 2024年11月から、メタネーション実証事業の建設工事を開始



✓ 分譲・賃貸事業の拡大に加え、強みであるお客さま接点を活用した住まいや暮らしのサービスを強化拡充

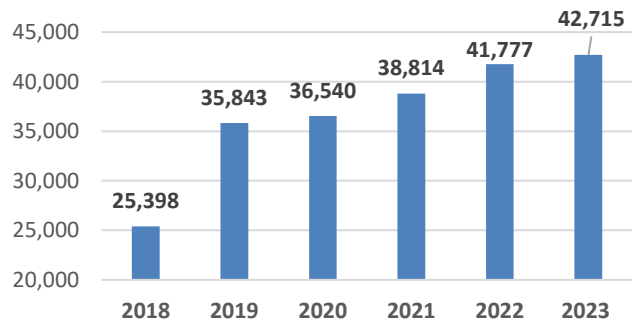
分譲・賃貸事業の拡大

- ✓ 分譲事業の拡大に加えて、賃貸事業の保有物件の蓄積を図り、事業の安定性を高めながら拡大
- ✓ 宅地開発や住宅・店舗建設など、不動産事業のサプライチェーン全体で事業拡大を推進



【不動産事業の売上推移】

単位: 百万円



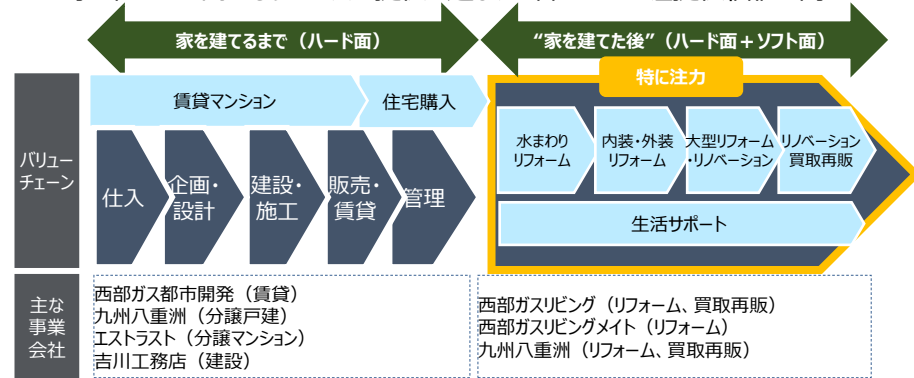
まちづくりの推進

- ✓ 九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりへ参画（優先交渉権者に選定）
- ✓ 世界を牽引する「未来」つくるまちづくりをコンセプトとして、新たな価値を提案
- ✓ 6つの方針：「九州大学の100年の歴史を承継」「新しいライフスタイルの創出」「新産業の創造と成長」「福岡の文化・千年の歴史の承継」「みどりあふれる空間の創出」「環境先進都市の創造と成長」



不動産バリューチェーン強化

- ✓ エネルギー事業の幅広い顧客基盤を活用した不動産事業を強化
- ✓ 住まいのソリューションを軸に、新築、増改築、設備改善はもとより、生活サポート等の住まいに関わるサービスの提供を通じ、お客さまの生涯提供価値を向上



3. サステナビリティへの取り組み

環境・資源保全推進活動

- ◆ 地域と密着した環境保護活動 (西部ガスグループ油山研修所の森)
- ✓ 油山研修所は、福岡市の南部に広がる油山のふもとに位置し、グループ研修所として、従業員が集い、自然と共存することで、新しい発想や癒しの空間として活用。市街地から車で30分の場所に位置し、樹木・草地・小川・湿地から構成される豊かな里地里山の環境が形成



湧水小川ゾーン

- ✓ グループ会社にて、樹木等の維持管理を1991年から30年以上継続
- ✓ 2024年からは動植物調査を行い、約128種の樹木や昆虫、鳥類を確認



湧水小川ゾーンで確認されたタグガエル

- ✓ 今後は、グループ従業員の環境教育や地域の生物多様性の保全やつながりの場として貢献する活動を計画

自治体との連携

- ✓ 当社グループの事業エリアを中心に、地域のカーボンニュートラルの実現に向けた連携協定を締結し、行政と一体となった取り組みを推進



- ✓ 長崎市と西部ガス長崎(株)は、「ゼロカーボンシティ長崎」の実現に向けた連携協定を締結
- ✓ カーボン・オフセット都市ガスの供給や、地域温暖化対策に関する意識醸成などについて連携、協働し、取り組む



長崎市との連携協定締結式

GXリーグへの参画

- ✓ 2024年4月1日より GXリーグに参画
- ✓ GXリーグへの参加を通じて、CO2排出削減への取り組みを加速させ、2050年カーボンニュートラルの実現貢献を推進



TCFDへの賛同

- ✓ 2021年10月26日 TCFD提言に賛同
- ✓ TCFD提言に沿った気候変動対応に関する情報開示を実施



人を大切にする取り組み (人的資本経営の推進)

- ✓ 「従業員価値の向上」とともに「柔軟で多様な発想や価値観を持つ人材の育成」、「効果的な人財活用による人財の活性化」を図るため、ダイバシティ推進に取り組んでいます。
- ✓ 多様性の発揮に向けた取り組みとしては、階層別に様々な講座や研修などを行っています。



イクボス式マネジメント講座

ソウゾウ大学

東洋は、自分たちの手でつくる。西部ガスグループが誇るべき、創業100周年に向けた「グループビジョン2030」では「人財」を、成長をつなぐ「基盤をつくる」を掲げるとし、地球環境のため、自然の恵みや最先端の技術、実際に働きやすい職場のあり、知の活用で、未来をまなびたいという思いを、「未来ソウゾウ人材育成プロジェクト」が掲げ、先見を惜み、創造する知恵と才力を身に付ける。学びの場であり、経験の場であり、仲間とつながる場。ソウゾウ大学、開校です。

開校



変革をリードする人財の育成を目的とした‘ソウゾウ大学’



子育て期WLBサポートセミナー



若手キャリア開発研修

地域とのつながり

- ✓ 西部ガスグループは、経営の基本理念「地域貢献」「責任」「和」に基づき、グループの強みと従業員一人一人の力、お客さまとのつながりを活かして、地域・社会貢献活動に係る取り組みを邁進しています。



日の里団地再生プロジェクト



コミュニティナース活動



未来の科学者教室



ガスの魅力を通じた出張教室



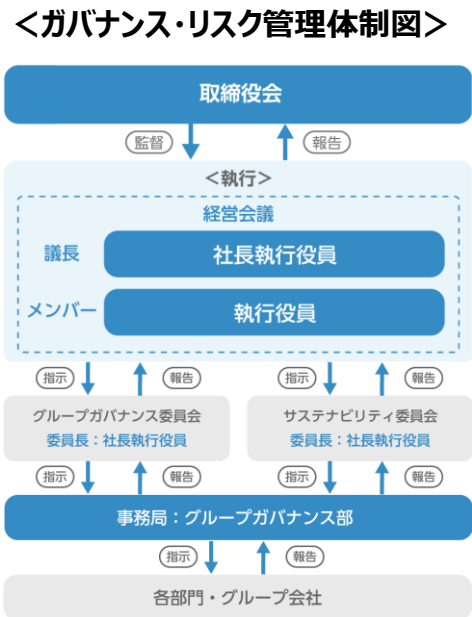
地域活動への参画



硬式野球部による野球教室

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

- ✓ 公正かつ誠実な事業活動を通じて、企業の社会的責任を果たすとともに急速に変化する事業環境に的確に対応し、株主をはじめとするステークホルダーの皆さまの信頼に十分にお応えできるようガバナンスの強化



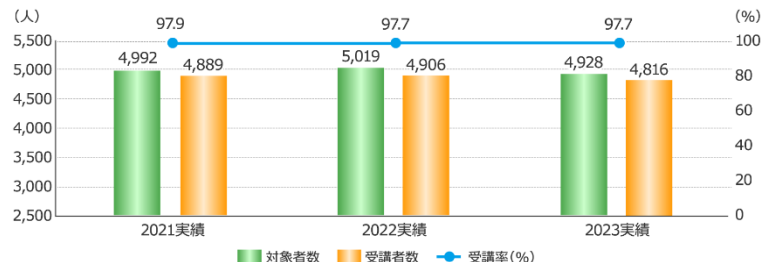
コンプライアンス研修の実施

- ✓ 経営者層・管理職層・新入社員等への階層別研修や各社・各組織のコンプライアンス活動のキーマンであるガバナンス責任者に対する研修を毎年実施することにより、コンプライアンス意識の啓発やコンプライアンススキルの向上を図る。



コンプライアンス教育担当者研修

全従業員研修受講状況（西部ガスグループ）



ステークホルダーとの対話の推進

- ✓ グループ中期経営計画に則り成長戦略を推進するとともに、IR活動・情報開示を強化し、PBRの向上を促進
- ✓ 開示内容の充実や投資家との対話機会の拡大（決算説明資料の開示、統合報告書の策定、機関投資家ミーティング、個人投資家向け説明会の開催頻度拡大、等）
- ✓ 中長期の成長ストーリーの策定・開示（次期グループ中期経営計画）

コンプライアンス相談窓口

- ✓ 西部ガスグループは職場での不正やハラスメント等、企業倫理上の問題についてのコンプライアンス相談窓口として、西部ガスグループ全従業員を対象とした「内部通報制度」を設けている。また、通報はメール、電話、郵送なども選択できるように通報者が利用しやすい環境を整えている。



- ✓ サステナビリティに係る取組みの推進、情報開示の充実等により、外部機関から高い評価を取得
- ✓ 一定の評価を取得したことでIndex（指数）に組入、株式売買量が増加

ESG評価機関の評価・Index（指数）組入状況

評価機関名	FTSE	MSCI	CDP Carbon Disclosure Project
当社スコア	4.0点	A	B-

◆組入状況



FTSE Blossom
Japan Index

2023年6月組入



2023 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数 ※

2023年6月組入



2018年7月組入



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2023年12月組入



2024 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数 ※

2024年1月組入



Morningstar日本株式ジェンダー・
ダイバーシティ・ティルト指数（除くREIT）

2015年12月組入



✓ 当環境・社会・ガバナンス分野におけるサステナビリティの取り組みを評価され、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）がESG投資を行うための指標として採用している5つの構成銘柄に選定

※ <http://info.msci.com/l/36252/2017-06-27/kj6v2j/>
本ホームページに記載された商品・サービス名は各社の商標またはサービスマークです。

4. 中間期の決算概要と業績見通し

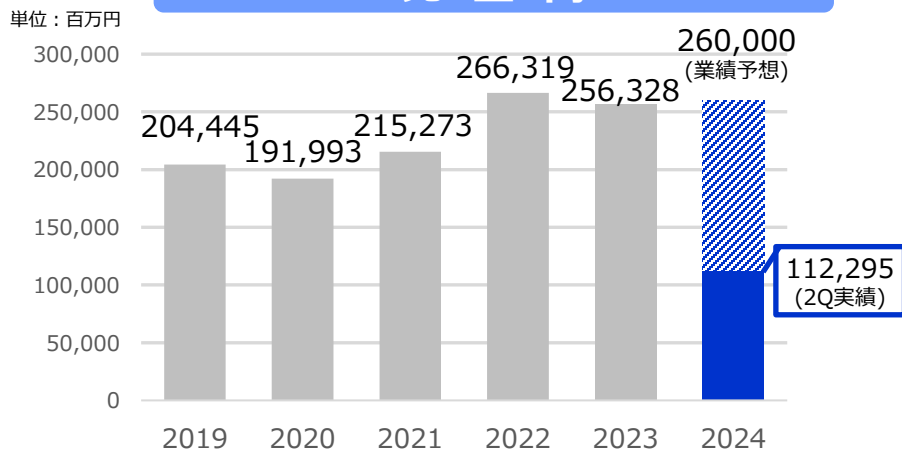
- ✓ 当中間期の連結決算は、経常利益ベースは 2016年度以来 8 期ぶりの減収・減益、親会社株主に帰属する中間純利益ベースは 2020年度以来 4 期ぶりの減収・減益
- ✓ 売上高は、ガス事業において前年同期と比べ原料費調整によるガス料金単価の下方調整の影響等により、7.3%減の 112,295百万円
- ✓ 経常利益は、ガス事業において売上高の減少等により、33.4%減の 2,139百万円
- ✓ 親会社株主に帰属する中間純利益は、経常利益の減少等により、49.7%減の 1,115百万円

(単位：百万円、%)

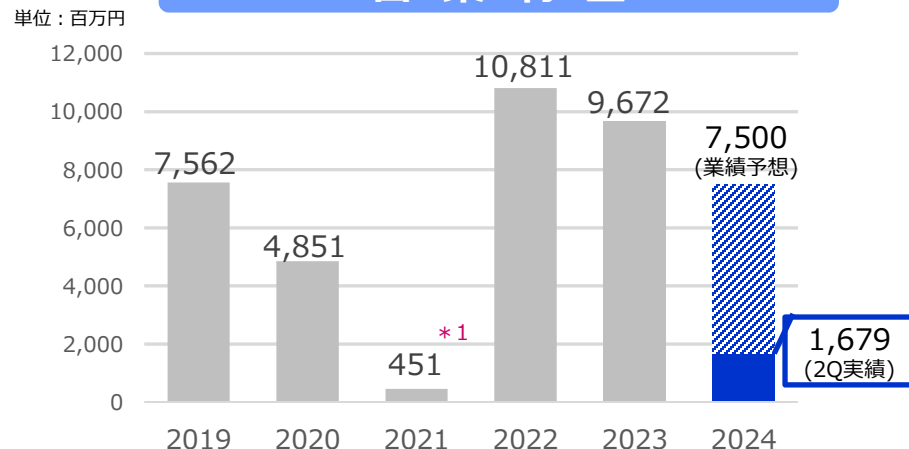
項目	当中間期 (2024.4~2024.9)	前中間期 (2023.4~2023.9)	対前年同期		備考
			増減	増減率	
売上高	112,295	121,157	▲ 8,861	▲ 7.3	2020年度以来 4 期ぶりの減収
営業利益	1,679	2,641	▲ 962	▲ 36.4	2021年度以来 3 期ぶりの減益
経常利益	2,139	3,213	▲ 1,074	▲ 33.4	2021年度以来 3 期ぶりの減益
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,115	2,216	▲ 1,101	▲ 49.7	2023年度から 2 期連続の減益

✓ 過去5年の業績推移は以下の通り

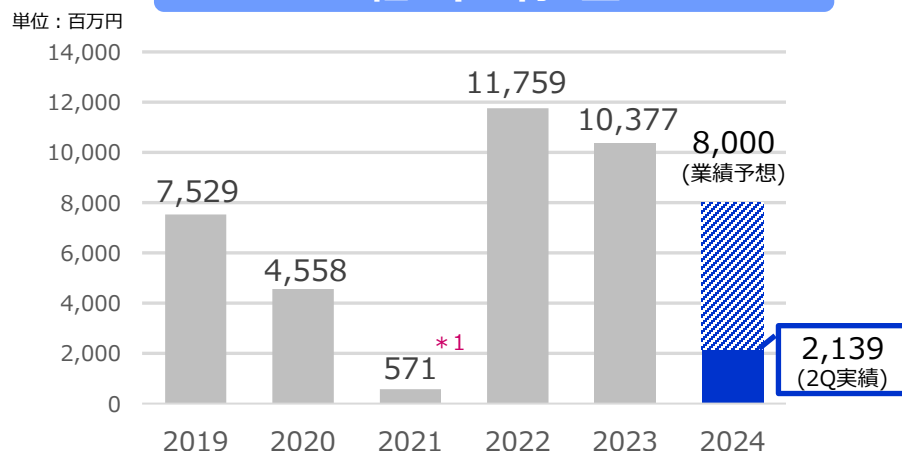
売上高



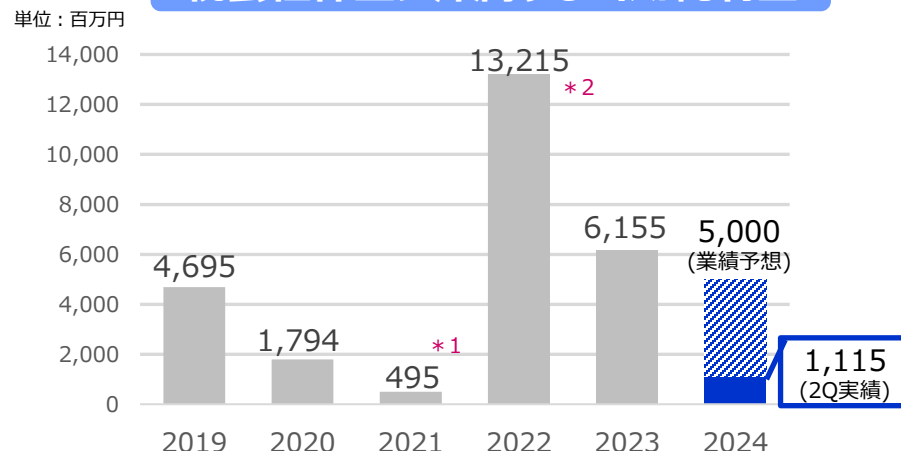
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



* 1 原料LNGを価格が高騰したスポット市場から調達した影響

* 2 ハウステンボス株式の売却益の影響

5. 参考資料

顧客満足度指数調査「ガス小売」部門 4年連続 第1位

- ✓ 西部ガス、西部ガス熊本、西部ガス長崎、西部ガス佐世保は、公益財団法人日本生産性本部 サービス産業生産性協議会が実施する、2024年度 日本版顧客満足度指数「ガス小売部門」において、4年連続で顧客満足度第1位の評価



公益財団法人日本生産性本部

日本でいちばん大切に したい会社



人を大切にする経営学会

えるぼし認定・くるみん取得

- ✓ 女性活躍推進



厚生労働省

ワークライフバランスに関する表彰



公益財団法人日本生産性本部



北九州市



厚生労働省

健康経営優良法人の認定

- ✓ 従業員の健康経営を推進



2023
健康経営優良法人
Health and productivity



2023
健康経営優良法人
Health and productivity

経済産業省

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき判断した予想であり、実際の業績等は様々なリスクや不確実性等の要因により大きく異なることがあります。

西部ガスグループは、西部ガスぐるぐるグループ。



地球と、暮らしに、
いい循環をつくるために。

資源とぐるぐる。
カーボンニュートラルを進め、
循環型の社会を目指します。

まちとぐるぐる。
行政やパートナー企業と連携し、
販わいのあるまちづくりに取り組みます。

人とぐるぐる。
グループ内の人財交流を活性化し、
変革をリードする人財を育成します。

みんなを巻き込んで、
しあわせの循環をつくっていきたい。
西部ガスぐるぐるグループです。

西部ガスグループ



 西部ガスグループ

2024年11月28日

各位

西部ガス株式会社

LNGタンク増設等によるひびきLNG基地の能力増強の決定について

西部瓦斯株式会社（代表取締役社長：加藤 卓二）は、本日、LNGタンクの増設等による「ひびきLNG基地」の能力増強を実施することを決定しましたのでお知らせいたします。

本件に関し、入札を行うことを本年3月26日にプレスリリースしておりましたが、本決定は、その後の検討結果を踏まえたものです。

ひびきLNG基地の能力増強は、カーボンニュートラルを背景とした国内の天然ガス需要への対応による低炭素化社会への貢献や安定供給の更なる向上、ひびきLNG基地を活用したグローバルビジネスの推進を可能とします。また、将来的にe-メタン導入によるガスの脱炭素化の実現に資するとともに、不測の事態に備えたエネルギーセキュリティの強化にも役立ちます。

当社グループは、今後も2050年カーボンニュートラルの実現に向けた、九州地域における更なる低・脱炭素化の実現に貢献してまいります。

◎LNG=Liquefied Natural Gas（液化天然ガス）

[ひびきLNG基地能力増強の概要]

事業会社	西部瓦斯株式会社
建設地	福岡県北九州市若松区向洋町20-1 (ひびきエル・エヌ・ジー株式会社の敷地内)
主要設備※	3号LNGタンク(23万kL)、ガス製造設備(LNG気化器・BOG圧縮機等)、ローリー出荷設備等
総事業費	約500億円
着工予定※	2025年夏頃(本工事)
運転開始予定時期※	2029年度上期

※3月のプレスリリース内容から記載を変更しておりますが、当初計画に変更はございません。

[ひびきLNG基地の位置図]



[ひびきLNG基地能力増強完成イメージ図]



以上